

令和3年度 こども発達支援センター青空
保護者研修

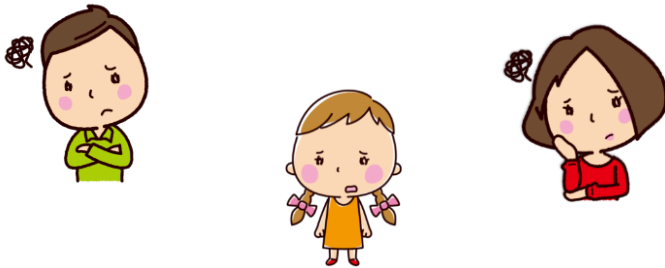


こどもの行動の理解と対応 ～行動的課題の理解と対応について

こども発達支援センター青空

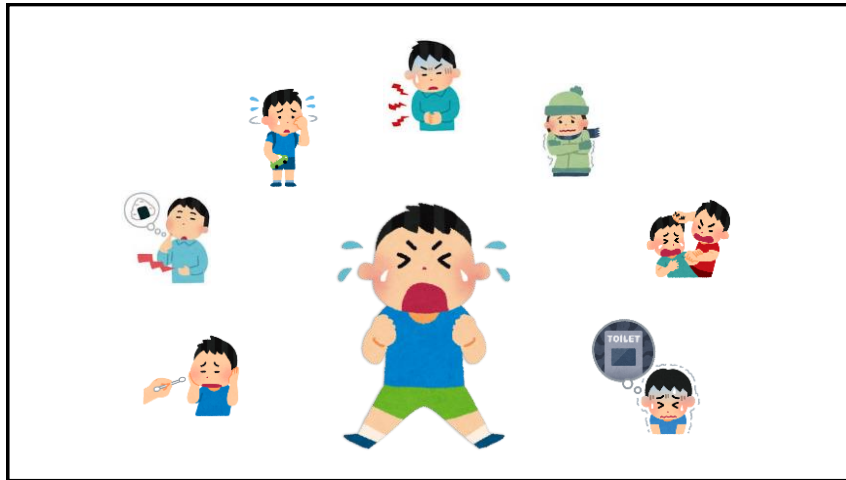
困っているのは誰ですか？

困っているのは 私？



行動から考える

子どもの行動を理解する



行動の理解

○ ABC分析の考え方



- 「先行の状況」を変えることで対処する
- 「結果」を変えることで減らしていく

行動には目的（機能）がある

- 行動の結果として何を得たのか？
 - ・ 注目を得る
 - ・ 物や活動を得る
 - ・ 感覚のフィードバックを得る
 - ・ 何かを回避する
 - ・ 必要な援助を得る

不適切な行動が減らない要因

- 要因の未解決
- 場当たりの対応 → 強化、助長される場合が多い
- 適切な行動が教えられていない
- 本人のせいにされている

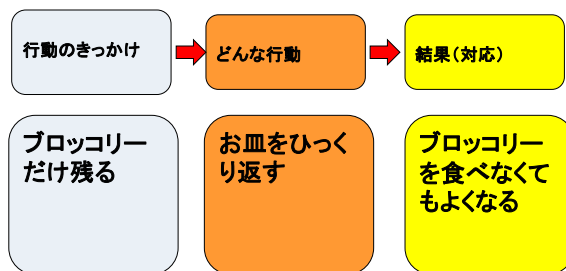
行動にはメッセージがある

- お母さん、こっち向いて！
- もう、飽きちゃったよ・・・
- 休憩させてほしい
- 手伝って！教えて！
- これでいいの？
- もう、疲れた・・・

こどもが食事をしている場面



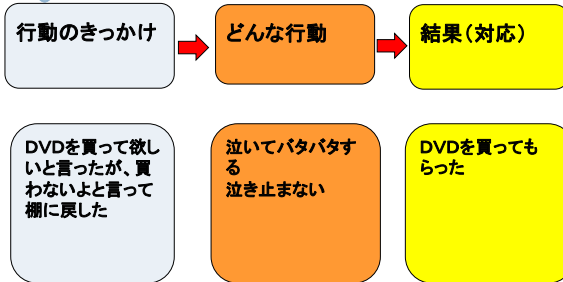
考えてみよう！



練習問題

- 買い物に行ったとき、DVDを手にとり買ってほしいとアピールしてきました。
- 先日買ったばかりなので、「買わないよ」と言いましたが、手放さないため、棚に戻すと泣いてバタバタし始めました。
- あれこれ言ってなだめようとしたのですが、聞き入れず、いつまでも泣きやまないで、DVDを買って帰りました。

考えてみよう！



夫が食器洗いをしてくれた



あなたは、なんと言いますか？

こんな風に言ったら、どうですか？

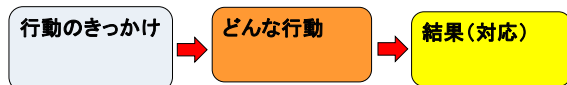
- A, 「何か、やましいことでもあるの？」
- B, 「どうせなら、きれいに洗ってほしいなあ」
- C, 「へえ～、やればできるのね」

ありがとう♥



うれしい

行動は学習の結果



・良い行動も困った行動も、結果(対応)によって身についていく(強化)

困った行動

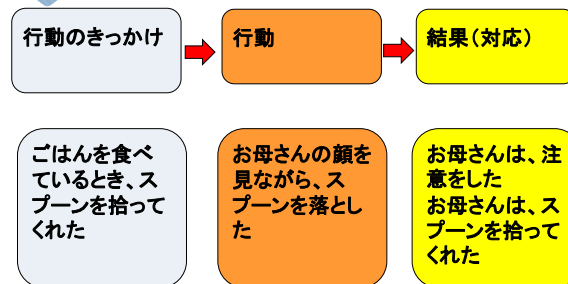
- 困った行動もこどもが学習して身につけたもの
- 行動が起こっても、そのあとで強化となることが起きないようにする
- 行動が起こっても強化されないとその行動が弱まる

事例

◆ Aちゃんの行動

ごはんの途中で、お母さんの顔を見ながらスプーンを床に落としました。お母さんは、Aちゃんに注意をして、新しいスプーンを渡しますが、Aちゃんはまた、スプーンを落とします。

考えてみよう！



この行動から考えられることは？

- スプーンを落とすことで得たことは？



注目してもらえた

表現の機能

- ①要求 ~がほしい、~をしてほしい、~してもいい？
- ②注意喚起 自分に關心、注意を向けさせる
- ③拒否 物や活動、人の要求を拒否する
- ④説明 自分や人のこと、物の特徴や状態について指摘する
- ⑤情報提供 相手の知らない情報を知らせる、質問に答える
- ⑥情報請求 自分が知りたい、教えて欲しいことを意思表示する
- ⑦感情や共感の表現 感情や体調などを表現する、挨拶をする

こどもの行動の見方

○ 肯定的な注目

- ほめる、喜ぶ、こどもに感謝する、笑顔を見せるなど
- こどもの行動を受け入れて肯定するときに行う

○ 否定的な注目

- 叱る、怒る、批判する、問いただす
- こどもを注意するときに行う
- 否定的な表現だが、「注目」として機能する

注目の力は偉大！

- 「肯定的な注目」「否定的な注目」どちらも同じ“注目”
- 肯定的な注目は、こどもの自尊感情を育てることにつながる
- 否定的な注目は、マイナス思考になったり、誤学習になる可能性がある

「ほめる」とはよい注目

- 相手の良い行動に気づいていることを知らせる意味がある
- 相手の行動を強化する
- どの行動がよいのか、相手に分かるようにほめる

好ましい行動に注目

- 「怒る」は、否定的な注目
- こどものトラブルに「怒る」で対応すると、悪循環に陥る危険性がある
- こどもが現在できていて、続けて欲しい、増やしたいと思う行動に注目

肯定的な表現で注目するとしたら？



こどもの行動がよくなるためのポイント

- ① こどもの行動をよく観察する
- ② できるところから1段ずつステップを踏んでいく
- ③ こどもの特徴に合わせて関わる
- ④ 高望みしない

ほめるタイミングも大切

- ①ほめられたことが、こどもに分かるように
- ②やり遂げるまで待たない（25%ルール）
- ③すぐにほめる
- ④こどもが好きなほめ方でほめる

行動への注目

- 好ましい行動をしている時に注目を向けず、
好ましくない行動をしている時に
「否定的な注目」を即座に
与えていませんか？



注目が誤学習のきっかけになる

- 止めさせたいと思って反応してしまうと、
注目を与えてしまうことになり、逆に強化
してしまいます

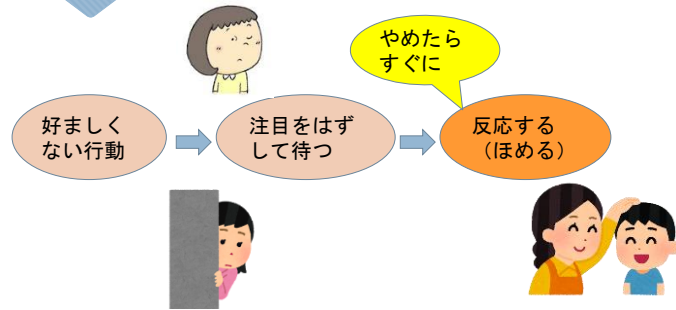


穏やかに楽しく...

- 好ましい行動をしている時に、**肯定的な注目を与え続ける**ことで好ましい行動を増やす
- 好ましくない行動からは、**注目を取り去る**ことで不適切な行動を減らす



注目を取る（反応のタイミングを待つ）



注目を取る（反応のタイミングを待つ）

- 効果的にするためには、別の行動になったらすぐに反応する
 - やめたらすぐ「ほめる」ことが大切
- ※頭で分かっているけど、ほめるのを忘れたり、タイミングがズレてしまうと逆効果

何に反応しないのか、どうほめるのかを明確にしておく、スムーズに対応できる

行動には意味がある

- 何に困っているかという視点で考える
- 行動をやめさせることにこだわらない



こどもを理解する

— 思考の違いを知る —

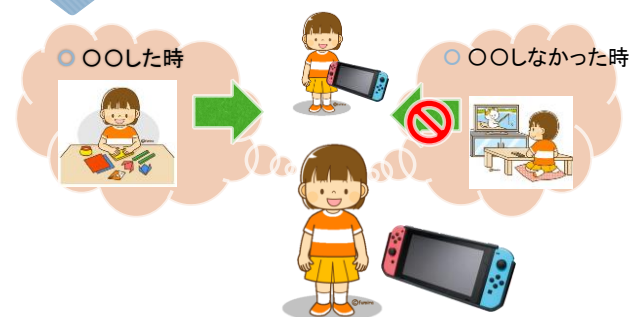
ゲームはいつできる？

お勉強したら
30分だけ
ゲームしてもいいよ
お勉強しなかったら
ゲームは無し



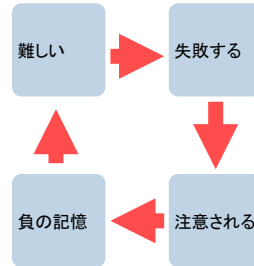
お勉強したら 30分だけ ゲームしていいよ
勉強しなかったら ゲームは無し

想像の中で比較するのは難しい



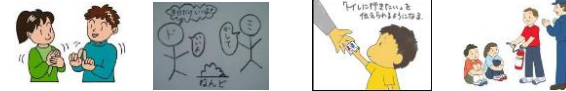
分かる方法で伝える

- こどもに分かってもらえる伝え方を考える
- 「わかっているだろう」を正しく評価する
- できるだけ失敗させないことが理解を広げる
- 持っている力を発揮できるように対応する



伝えやすい方法で聞く

- こどもが、伝えやすい方法を使うことで、話して楽しかった、また話したいという気持ちを持ってもらうことが大切



伝えやすい方法で聞く

- コミック会話—本人が言ったことを絵や文字にすることで、自分の考えや言葉を整理できる
- PECS—誤解なく相手に伝えることができる(自発を教える)
- サイン、実物、モデル実施など

“困っている”を伝えられますか？

—笑顔の後ろに隠されているこどもの思い—



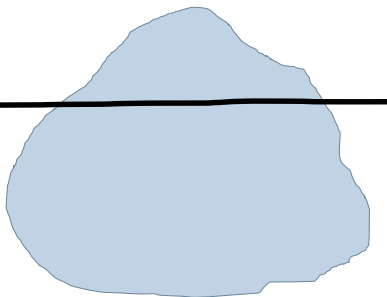
特性から行動を考える

行動の奥にある、困りごとに気づく

冰山モデルから考える

表面上の問題

水面下の問題



ワーク

事例（幼稚園での様子）

- Cちゃん（5歳）年長
- ことばは話せますが自分から話すことは少ないです。あまり人と関わらず、一人で過ごすことが多いです。
- 教室では、支援の先生がついています。
- 以前は、スケジュールがありましたが、本人が見ないので、現在は使っていません。日常は、みんなの後をついて行動しています。
- 幼稚園の先生に様子を尋ねると、「何も問題ないですよ」と言われます。

事例（自宅での様子）

- 年長になった頃から、帰り道に不機嫌になるようになりました。最初は、そのうち収まるかと思っていたが、エスカレートし家で爆発するようになりました。
- 好きな水が流れる水路を見たくて、なかなか家に入ろうとしなかったり、雨の後、突然、家から飛び出したりします。
- 最近では、お家でお母さんやお姉ちゃんを叩く行動が増えてきました。夜中に目を覚まし、泣きながら叩くこともあり、家族も疲れています。

冰山モデルから考えよう

- 1、行動上の問題「困った行動」「気になる行動」を
リストアップする
- 2、行動の背景を考える
- 3、その行動の対応を考える

ワークシート（困った行動・気になる行動）

- まず、最初に自分で①を書いてください
- ※ 思いっただけ書き出してください
- 事例の文の中から、気になること、困った行動と思うものを書いてください

ワークシート

(その背景は？何故？もしかして？)

② その行動の背景を考える

- ・いつから始まったか？
- ・何かきっかけは？
- ・どういう場面で、どういう時によく起こるか
- ・その行動に対するこれまでの対応の効果は？
- ・行動の理由、原因を障がい特性から検討すると？

ワークシート(対応)

③ その行動への対応を考える(優先度の高い行動をあげる)

- ・その行動に対応することで、本人の生活がどのように改善させるか？
- ・動機になること、興味・関心のもてることは？

こどものサインを見つける

表面上の問題

- ・言葉で表す
- ・態度で表す
- ・体調に現れる

背景にある問題

- ・何をしたらよいかわからない
- ・何を言われているかわからない
- ・適切な表現の方法を知らない
- ・感覚過敏

困っているサインは、分かりにくい

☆表情に出にくく、うまく言葉で説明できない。

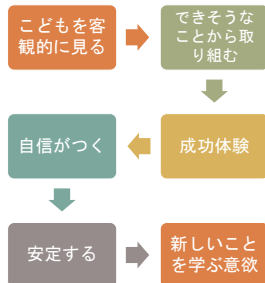
そのため、ストレスを溜めやすい

☆傷つきやすく、トラウマになりやすい

☆その場で出さずに遅れて表出するなど分かりにくい

何を大切にするのか

- こどもは必ず成長する
- 今、必要なことは意味のある世界へ導くこと
- 成功体験を積む
- 言葉のみにこだわっていると、
大事なものを見落としてしまう



環境を整える

こどもが安心できる環境を整える

- 分かりやすくする
- 見通しが持てるようにする
- 嫌がることは無理強いしない

**視覚提示が
必要**

“分かることが安心への扉”

-安心が保証されなければ学ぶことは出来ない

こどもへの支援

- SST（ソーシャルスキルトレーニング）
- 余暇支援
- 感情のコントロール

ソーシャルスキルトレーニング

- こどもが、分かりやすい方法で、世の中のルールや、ふるまい方を教える
- 例えば・・・
 - ソーシャルストーリー
 - コミック会話
 - コミュニケーションの方法

余暇支援も大切

- 余暇が『楽しい』ことで、『楽しく』過ごせる時間が増える
- 『楽しい』余暇が豊かなことで、問題となる時間が少なくなる
- 『楽しい』余暇は、将来にも役立つスキルとなる



余暇の1つ「休息」「休憩」

「休憩しましょう」と言われても、休憩の方法が分からない人がいる

➡ 具体的に何をするか伝える

感情に気づくことが遅い事があり、そのため「休息が必要」な事に気づきにくい人もいる

➡ 感情には段階があることを教える

感情コントロール

レベル	ひょうじょう	どんなとき	なにをします?
5		おそろしい	「大丈夫」といわれる。
4		おそろしい	・顔にもだるに 怒り声を 出される。 ・くすりの 出る。
3		おそろしい	・ローマ音 出される。 ・ハチマキ 出される。
2		おそろしい	・おどろきを する。
1		おそろしい	・顔に涙を、顔に赤み、口が苦、声に いく。 ・ニヤッとした顔をする。 ・顔を 赤む。 ・おどろきを する。 ・チヨコートを 食べる。

リラクスの方法

本人ができるリラクスの方法を見つけておくことも必要
(深呼吸、力を抜くなど)



“行動には意味がある”

“行動は学習の成果”

大切なことは

- こどもの特性や個々の学習スタイルの違いを理解して考える
- 環境を整える
- こどもが分かる方法で教える

1年間
お疲れ様でした

